

パブリックコメント手続の実施結果について

下記の案件について、市民の意見を募集するパブリックコメント手続を行なったところ、次のとおりご意見をいただき、ご意見に対する結果（意見の概要と市の考え方）をまとめましたので、お知らせします。（なお、意見募集案件以外のご意見は公表いたしません。）

◆ パブリックコメント手続の実施

対象案件	富良野市地域防災計画の修正について
意見募集期間	令和5年1月10日 から 令和5年1月31日 まで
担当部署（問合せ先）	総務部 総務課 （電話 0167-39-2300）
意見提出件数	意見提出者数 <u> 1 </u> 人 （個人）
	意見提出件数 <u> 6 </u> 件

◆ パブリックコメント手続の結果（市民意見提出手続の結果）

提出のあった意見の概要	市の考え方 （原案を修正したときは修正内容）
<p>「避難所における女性や子供等への安全への配慮」では触れていない高齢者、要介護1，2～要支援1，2の方は「子供等」に含まれているのか。女性や子供と違う配慮が必要であり、言葉としてははっきり記した方が良いと思う。</p> <p>現実には高齢者が高齢者を、高齢者や要配慮者が要配慮者を支援しないと避難できないのでは？</p>	<p>避難所における高齢者、要介護者等の要配慮者への支援及び避難につきましては、本計画第2章11節の「要配慮者対策計画」で福祉担当部局や福祉関係機関等との連携に努めることや緊急連絡体制の確立、避難時における、警察や消防、福祉関係機関、町内会、自主防災組織などとの協力について規定しています。</p>
<p>停電時のメール、ライン、アプリ等使用の電源確保について触れていない。</p> <p>以前のブラックアウトの時、停電・復旧情報等について市の広報が遅く、個人間による口コミの方が早かった。</p>	<p>停電時の電源確保について、広報誌等で皆様に、モバイルバッテリー等の備蓄をお願いしている他、市としても、本計画第7章第8節「大規模停電対策計画」に基づき、発電機の備蓄のほか、燃料の確保や関係機関との協定締結等に努めているところです。</p> <p>市の情報発信につきましては、早期に皆様にお知らせできるよう努めていますが、確かな情報をお伝えするため、内容の真偽を確かめた上でお知らせしますことをご承知おきください。</p> <p>また、災害発生直後など、情報が不足しているときは、口コミ等による情報には、誤った情報も多いことから、公的機関の他、テレビ、ラジオからの情報収集に努めていただくよう広報誌等で周知しているところです。</p>

<p>新聞にも出ていたが、ペットがいるから避難所に避難しないケースが各地で報告されている。富良野は観光都市であり、ペットを連れて訪れても安心であるとアピールにもなると思うので是非キッチリとした先進的な計画を作成してほしい。ペットも犬、猫、小鳥ぐらいいは対応してほしい。飼い主についても、最低この位のものは準備したり、しつれたりすることが必要とアピールした方がよい。こうしたものを案内所や宿泊施設におくと富良野市の宣伝にもなるはず。また、ペットを入れる各種バスケットやケースなど飼い主が用意していないという理由で避難所では受け入れませんかと言えないなら、ある程度は準備の必要があると思う。</p> <p>また、こうしたことに詳しい者の養成も必要と思う。</p>	<p>本計画には規定していませんが、市では現在、「富良野市避難所運営マニュアル」でペットの避難及び飼育のルールについて定めており、避難所の居住スペース部分には、原則としてペットの同伴は禁止としています。これは、共同生活を行う場所では、ペットの飼育をめぐるトラブルが発生しやすいことやアレルギーの発症のおそれがあるためです。</p> <p>ペットの飼育スペースにつきましては、避難所敷地内に専用スペースを設けることとし、飼い主の皆様には、日ごろから同行避難に備え、吠えたり、他の人の迷惑にならないようしつけの他、リード、ケージ、ペットフード・トイレ用品などの非常用持出品の準備を2019年に全戸配布しています「富良野市防災ガイドマップ」や出前講座、ラジオふらのの番組等をお願いしているところです。市としても、「富良野市備蓄計画」に基づき、ケージの備蓄を計画的に行っていきます。</p> <p>ペットの避難に伴う対応や人材育成につきましては、今後、マニュアルの見直しを行う際に国や北海道、他市の動向を踏まえ検討していきます。</p>
<p>防災携帯電話を30台から台数整理に伴う修正で12台に減らしているが、もっと詳しく説明を受けないと納得できない。</p>	<p>防災用携帯電話につきましては、災害時等における職員間の連絡手段として配備しているものですが、今後は、基本的には個人の携帯電話で連絡を行うこととして、最小限の台数に整理させていただきました。</p>
<p>災害ボランティアとしての参加経験からいうと、準備が必要なものとして、避難所でよく聞いていたのは現金をある程度持ち合わせてないと自動販売機など使えない、復活の早いコンビニにも行けないという話だった。</p> <p>また、車で避難するケースが多いと思うが多くの被災地ではこれに苦労している。これについても触れていない。</p>	<p>非常時の持出品については、人によって異なるため、本計画には規定しておりませんが、2019年に全戸配布しています「富良野市防災ガイドマップ」や「富良野市備蓄計画」、出前講座、ラジオふらのの番組等で非常時持出品の具体例を挙げており、その一例として、現金を含む貴重品について皆様にお知らせしています。</p> <p>避難方法につきましては、本計画第4章第9節及び第5章第16節の「避難対策計画」で規定しています。また、広報誌等でも交通渋滞や緊急車両通行妨げ等の観点から、原則徒歩による避難を皆様をお願いしているところですが、身体状況や避難所までの距離が遠いなどの理由がある場合は、車による避難を呼びかけているところです。</p>

災害時の職員の動員時留意事項でアマチュア無線や液晶テレビ削除されているが、隣町南富良野町の災害の時状況をかなり詳しく全道各地に発信できたり各地の状況や救援について知るうえでアマチュア無線の力が大きかったと聞いているが。TVも電池で見られるものもあり情報源は多様にあるのはよいと思うのですが。

災害時における職員の携行品について、PHS、アマチュア無線機、液晶テレビについては、職員の所持率が低いため、「その他必要な用具」の中に含め整理させていただきました。

広報紙 4 月号への掲載

市のホームページへの掲載（掲載日 3月31日）

行政情報コーナー・各支所・文化会館・図書館への供覧・配布（ ____月 ____日）